

神戸新聞

兵庫の大学へ行こう2017

14、15面	関西国際大学 学長インタビュー 在学生メッセージ	19面	関西国際大学
16面	神戸大学	20面	神戸山手大学
17面	甲南大学	21面	神戸常盤大学
18面	兵庫医療大学	22面	神戸国際大学
		23面	大阪芸術大学短期大学部
		24面	頌栄短期大学

INDEX

作家(武庫川女子大学卒業) 湊かなえさんに聞く

どこからでも「世界」へ

2007年に小説家としてデビュー以来、特異で緻密な人物設定と軌跡を手書きするストーリー展開が話題を呼び、ベストセラー作家としての地位を不動にした湊かなえさん。武庫川女子大(西宮市)

での学びやサークル活動が人生の選択肢を増やすことになり、人生が広がったと語り、「これだけ考え、行動できる時間は大学時代だけ。4年間を精いっぱい有効に使ってほしい」と語る。

自転車で全国回った青春

—武庫川女子大学に進学したきっかけは。
瀬戸内海に浮かぶ島(広島県)で生まれ育ったのですが、大卒を違ふ際親から「関西まで」と条件を付けられていたので、じゃあ一番遠い関西にしよう。理系科目が好きで手先も器用だったので生かして、将来就職につながる理系科を考へて家政学部を決めました。関西に出るのは初めてだったので、近所の人から「大阪に梅田は同じだから」と注意を受けました。

—大学生活はいかがでしたか。
友人に誘われて入ったユースライクリング同好会で、いきなり香川県の金比羅山まで自転車で行くことになって。そんなことが多かったと驚きました。世界が一気に広がったような気がしました。在学中に全都道府県を回りましたし、小説で題材にするほどの多い山を好きになるきっかけを与えてくれたのも自転車です。

—被服学科には洋裁、和裁の授業もありませんが、染色や繊維の物理特性を学ぶ科学の要素が入った授業も楽しかったです。井上彌さんの小説に、登山用ロープが切れて滑落する事故を扱った「氷壁」という小説があるのですが、これを題材に「なぜロープが切れたのか」を考えさせる課題もありました。

—大学時代に心掛けていたことは。
せっかくならば通わせてもらっているわけですから、大学時代に取れる資格は取っておこうと思って、家庭科の教職課程のほかに繊維製品品質管理士などの資格も取得しました。結局アパレルメーカーに就職したので、教員資格取得に費やした時間は無駄になったなと思いましたが、これが後になって役立つことになりました。

特別な時間 大切に使う

—どうやって使ったのですか。
森林科の「天國」が一番近いです。感化され、南の島にあこがれていました。あの口、通勤途中のバスの中目に入った青年海外協会の水スタをのぞいた。トンガ王国で家庭科の教師をやっていて知ってすぐに応募。2年間トンガで過ごしました。トンガで使う教材の相談に乗ってもらった大学時代の先生に、「帰国後にあいさしに出向いた」と「せいかた」な島内の高校で家庭科の講師の仕事を経験してみたいかと紹介をされたのが淡路島の高校でした。

—作家になったきっかけは。
淡路島に移り住んで結婚、出産をしながら、しばらく前から新しいことを始めたいと思うようになって、パソコンで文章を書いてみようと思

—高校生にメッセージをお願いします。
私は大学に入った際全く無利便のことを知り、活用していませんでしたが、もう早く知っていたら良かったと思います。大学に行かなくてもいいんじゃないかな、物事を考え、自由行動の時間を増やしたい。精いっぱい有効に使ってほしいと思います。

—書いた脚本で賞をもらったのですがテレビ関係者から脚本は打ち合わせが多いから、東京でないと仕事ができないと言われて小説なら東京に行かなくても済むなと考えたのです。テレビに負けたと思われたくなくて、あなたたちに映像化できないものを書いてやると思ってきたのが、登場人物がシャッリ続々出てきます。東京でいかに東京で成功することが目的になってしまふ。淡路島にいれば東京を意識



みなと・かなえ 1973年、広島県生まれ。武庫川女子大家政学部被服学科卒業後、アパレルメーカー勤務などを経て、99年に淡路島にある高校の家庭科の講師として赴任。結婚、出産の後、作家活動に入る。「告白」で2009年本屋大賞受賞。近作「ユートピア」で山本周五郎賞受賞。欧米やアジアでの評価も高まっている。洲本市在住。

